

## 健康保育学科の教員養成の目標と達成計画

### 教員養成の目標

健康科学部健康保育学科は、幼稚園教諭、特別支援学校教諭、保育士の養成を行う。

教員養成の重点を就学前教育・保育に絞り、幼稚園教諭一種免許状及び特別支援学校教諭一種免許状、保育士資格を取得できるように教育課程を編成している。

人格形成や発達段階において最も重要な乳幼児期の発達と学び、障害をはじめひとり親家庭、貧困、虐待といった、ひとり一人の子供の持つ多様な困難や課題を総合的に捉え、幅広く対応できる高い専門性と実践力を有した保育者を養成する。さらに、中山間地域に立地する大学の地の利を生かし、子育ての経験、情報、仲間の少ない親によって子育てが行われる少子高齢化地域における子育て支援のリーダーを養成する。

### 教員の養成の目標を達成するための計画

#### 1. 幼稚園教諭一種免許状授与の所要資格を得させるための課程

新見公立大学健康保育学科は、教員養成の重点を就学前教育・保育に絞り、就学前教育・保育のリーダーを養成する。さらに、中山間地域に立地する大学の地の利を生かし、少子高齢化の進む地域の子育て支援のリーダーを養成する。

現在、就学前教育・保育を担う人材が不足している。また、日本における急速な少子化の進行並びにひとり親家庭の増加をはじめ家庭及び地域を取り巻く環境の変化、障害を持つ子供の増加など、多様化・複雑化が進む就学前の子供の教育及び保育に対する需要に対応できる高度な人材が求められている。

近年、就学前の子どもの対応には、保護者対応、病児保育を含む病気に関する対応、障害を持つ子供への対応、地域ぐるみの子育て支援体制の構築など高度なスキルが求められる。これらを学ぶには短期大学の2年間では十分に学ぶことが出来ない。また、幼稚園教諭免許と共に小学校教諭免許を修得する養成課程では、就学前の子供について学び理解する時間が相対的に少なくなる。本学健康保育学科は、学修対象を人の成長に最も重要な段階である就学前に絞り、4年をかけて深く学び理解をする。

また、本学は中山間地域の新見市に立地することを生かし、少子高齢化の進む地域の子育て支援のリーダーを養成する。日本の少子高齢化の進む市町村数（過疎地域）は5割に近づいており、過疎地域の国土面積は6割に近づいている。日本の教育には、子育ての相談相手や仲間の少ない環境の中、経験の少ない親によって子育てが行われる少子高齢化地域に対応した新しい教育・保育が求められている。しかし、少子高齢化の進む地域に立地し、少子高齢化の進む地域の子育て支援について学び研究をすることが出来る大学はほとんどない。車に乗らないと隣の子供に会えないような子育て環境の地域に立地する大学で学ぶことで、学生は少子高齢化地域に見られる孤独に陥りがちな子育て、およびその支援の課題を、机上ではなく日々肌で感じながら学び研究することが出来る。

#### 2. 特別支援学校教諭一種免許状授与の所要資格を得させるための課程

近年、特別支援学校や特別支援学級に在籍している幼児児童生徒が増加する傾向にあり、通級による指導を受けている児童生徒も増加している。文部科学省は特別支援教育の充実のため、特別支援学校教員の専門免許保有率100%を目指し、法改正等で特別支援学校教諭免許の取得を促している。

特別支援学校教諭免許取得者の多くは、小学校、中学校、高等学校の免許を有しているものがほと

んどであり、幼稚園教諭免許を基礎免許として特別支援学校教諭免許を取得しているものは少ない。しかし近年、かつては明らかにされていなかった発達障害児の存在とその課題が注目されるようになり、また医療の発達等で様々な障害を持つ子供が生き、障害を抱えつつ成長していくことが可能となった現在、障害を持つ子供を適切に理解し支援できる人材の育成は喫緊の課題である。

今後はいかなる現場においても障害のある子供ない子供、さらにはひとり親家庭の子供、貧困家庭の子供、性的マイノリティの子供、日本語を母国語としない子供等が共に成長していくインクルーシブな教育・保育が求められる。

そのためには両親のいる中流家庭に育つ定型発達の子供を想定した教育・保育を学ぶだけでは不十分であることは言うまでもない。同時に様々な障害や課題を持つ子供にとって適切な教育・保育は、そうではない子供にとっても適切である。加えて就学前教育の無償化に伴い、特別支援学校幼稚部へのアクセスが緩和され、その潜在的ニーズも顕在化しつつある。特別支援学校幼稚部は地域の特別支援教育のセンターとして、障害を持つ子供が通う地域の通常の幼稚園等を支援する専門家としても期待されている。

現代の複雑かつ多様な課題を持つ教育・保育が適切に行われるためには、特別支援学校幼稚部の教諭職を担えるような就学前教育・保育の高い専門性と実践力を有した専門家が求められている。本学はこのニーズに質的量的に応えられる日本でも数少ない養成校となる。

特別支援学校教諭免許取得者の専門性と実践力を高めるためのカリキュラムとして、特別支援学校教育実習においては、特別支援学校での教育実習に加えて、特別支援学校幼稚部においてボランティア活動を行う。